

佛敎學セミナー

第 103 号

論 文

ヨーが行法における正しい行為(satkāra)について…山 本 和 彦…1

公開講演

最澄から安然へ……………大久保 良 峻…15

——初期日本天台の根本的展開——

人と業績

白土わか先生を偲んで……………ロバート F. ローズ…46

研究ノート

平安時代の仏教……………ロバート F. ローズ…50

* * * *

学 会 彙 報……………79

2016年6月

大 谷 大 學 佛 敎 學 會

佛教学セミナー

第 101 号

論 文

中国における仏伝受容 采 署 晃... 1

——漢訳仏伝の変容を通して——

公開講演

『俱舍論註ウパーイカ』の研究 本 庄 良 文... 18

学 会 彙 報 36

論 文

説一切有部における有漏縁・無漏縁について 梶 哲 也... 46

初期唯識思想において

vastu の概念がもたらした問題 岸 上 仁... 20

——説一切有部の議論をふまえて

『菩薩地』『真実義品』を考察する——

Tattvārthā における得・非得の翻訳研究 (1) 楠 宏 生... 1

佛教学セミナー

第 102 号

論 文

七處八会の構造から見た『華嚴經』の

基本思想について 織 田 顯 祐... 1

新入会員歓迎講演

アメリカの宗教、アメリカの仏教 ロバート F. ローズ... 20

学 会 彙 報 38

論 文

Tattvārthā における得・非得の翻訳研究 (2) 楠 宏 生... 1

編集後記

『佛教學セミナー』の一〇三号をお届けします。この号から、山本和彦・箕浦暁雄に代わり、上野牧生とロバート・ローズが編集を担当することになりました。まずは過去数年間、『佛教學セミナー』の発行に尽力していただいた両先生に感謝を申し上げます。

今回は論文以外にも、公開講演の筆録や研究ノートなど、様々なジャンルの文書を掲載することができました。大久保良峻先生の講演筆録は、二〇一五年の十二月に行われた大谷大学佛教學会の公開講演会の記録です。そのなかで、先生は日本天台における密教の発展を分かりやすく跡付けていただきました。先生にはとてもお忙しいなか、講演をお引き受け頂きましたことを深く感謝いたします。

研究室の窓から外を見ると、新しく建てられた慶應館の立派な姿が見え、その先には、私がかつて学生のころ授業を受けていた一号館の解体作業が進んでいます。また大学を新たに文学部・社会学部・教育学部の三学部に再編成することが構想され、その実現に向かって着々と準備が進められています。このように大学は外観も内実も、大きく変わらうとしています。このような変革の時期、佛教學会も変えるべきところは変えながら、先輩の方々が培ってきた学問の伝統を維持しつつ、さらなる発展を目指していく所存です。

(RFR)

ロバート F. ローズ	大久保 良峻	山本 和彦	執筆者
大谷大学教授	早稲田大学教授	大谷大学教授	

PhD

博士(文学)

佛教学セミナー

第 103 号

2016 年 6 月 20 日 印刷 定価: 本体 1,000 円(税別)

2016 年 6 月 30 日 発行

編集
発行

大谷大学佛教学会

発行者 織田顕祐

603-8143 京都市北区小山上総町 22

振替 01040-3-25303

印刷

中村印刷株式会社

発売所

文栄堂書店

604-8091 京都市中京区寺町通三条上ル

振替 01080-4-2948 番

電話 075(231)4712 番

BUDDHIST SEMINAR

CONTENTS

Articles

Right Action of <i>Yoga</i> Practice	YAMAMOTO Kazuhiko	1
--	-------------------	---

Public Lecture

From Saichō to Annen: The Fundamental Development of Early Japanese Tendai Buddhism	ŌKUBO Ryōshun	15
--	---------------	----

People and their Legacy

Remembering Professor Shirato Waka	Robert F. RHODES	46
--	------------------	----

Research Notes

Heian Buddhism	Robert F. RHODES	50
----------------------	------------------	----

* * * *

Reports	79
---------------	----

PUBLISHED BY
THE SOCIETY OF BUDDHIST STUDIES
OTANI UNIVERSITY
KYOTO JAPAN